

夏まつりを終えて

山上 幸男

「田中野田夏まつり」も今年で25回、25年毎年多くの参加者のもと盛大に行うことができました。

私も初回より参加させていただき、若かったあの頃を思い出します。女装したり、寸劇をしたり、有志7人で太鼓を始めたのも初回のことです。全く何の技術も知識も学ぶ場もないとき、町内の白友会白石先生を訪ね、太鼓のリズム打ちを習い、また、大切な太鼓をお借りして始めたのを思い出します。メンバーが年々少なくなり、子供たちを加え、その後、子供たちのみで打つ現在の「田中野田まつり太鼓」として続いております。毎年7月に入ると、福祉センター体育館で週2〜3回、10回程度の練習の中、

曲が完成に向かうと、子供たちの表情が変わってきたことに気づきます。喜びと自信が表れています。



また、それが私の指導継続の力となっております。数年前から女の子も加え、新たな「太鼓」を創作しています。また、私の最大の喜びは、「教え子」が卒業後も「太鼓」を見に来てくれ、声を掛けてくれることです。

今後も、指導者の育成と、継続して盛大に行われるよう努めるとともに、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

夏祭り

6年 広田 勇一

夏休みで楽しかった思い出は夏祭りです。一番初めに行ったのは田中の祭りです。友達といっしょに屋台を回りました。

田中野田の祭りは、「あんどん」を作りました。お



店の手伝いもやりました。花火もやるととても楽しい祭りでした。

いろいろな祭りがあったけど、一番の思い出は「うらじゃ」です。前に姉のを見ていたので、出るのを楽しみにしていました。練習は暑い中、毎日あり、だんだんみんながまとまっていって本番が楽しみになりました。本番の日は、朝早く起きて「うらじゃ」のメイクをしました。かみに色をつけたり立たせたり、顔にもメイクをしてけっこう大変でした。自分たちがおどる前に他のチームのおどりを見ていたら、カッコいいチームがたくさんあってすごいと思いました。暑い中、最後までおどることができ、今まで一生けんめい練習してきた本当に良かったと思いました。

- ☆ 大相撲 土俵の外が 気にかかる
- ☆ 謝れば それで済むのか 汚染米 3組 和氣加太志
- ☆ 人を刺し 誰でもよいは ないでしよう
- ☆ 生みもせず 育てもできぬ 視が増え 3組 和氣良江
- ☆ 投げ出しの 技を教えて 福田さん
- ☆ ススキ活け 月の無い夜の 月見酒 9組 角田和子
- ☆ アシタから 口ぐせに合る ダイエット 9組 足立 三佳

★川柳自主投稿コーナー★
 皆さん身近な話題や出来事を川柳に現してみませんか。随時受け付けていますので、どしどし投稿してください。(匿名、新聞ネームでも可。また、下記アドレスへのメール送信も可)